

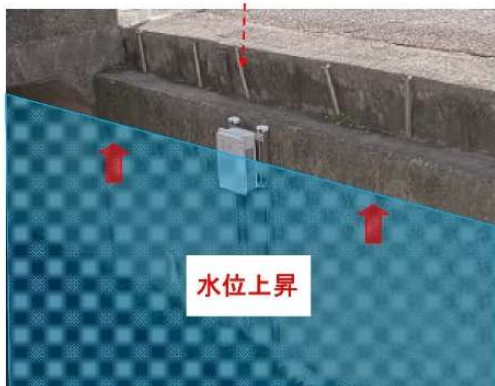
流域治水プロジェクトの取組状況に関する調査結果(令和7年11月実施)

<西尾市>

【河川防災情報システム】



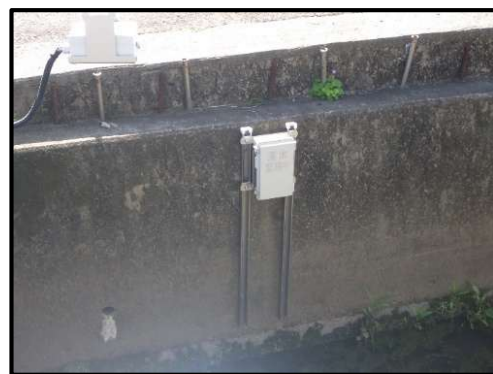
※写真は道光寺川になります



監視カメラ及び水位計



川の水位が上昇し、浸水センサーが水に浸かると、センサーが反応し、LINEに通知を行う



浸水センサー

【取組内容】

近年、水災害による被害が頻発化・激甚化するなかで、デジタル技術を活用した河川防災情報システムを構築し、令和6年2月より運用を開始しました。

豪雨時などに河川に設置した監視カメラ、水位計及び浸水センサーによりカメラ画像による河川の状況や水位情報などが確認できるほか市LINE公式アカウントの登録者で通知設定を行った方には川の水位が上昇した際に通知を受け取ることもできます。

※市管理河川のうち浸水実績のある3箇所に機器を設置しました。

【取組効果】

必要な情報を確認できる環境を市民へ提供することで水害発生時の迅速な初動対応へと繋がり、被害の軽減が期待できます。

これまで職員が巡回し確認していた河川の状況をカメラや水位計で確認することで、災害時のリスクの低減や防災活動の効率化が図られます。

※令和7年9月に発生した台風15号において河川防災情報システムが稼働し、現地の水位情報収集等に活用しました。